

ウェルネス産業における エビデンスの在り方

科学・産業・生活者をつなぐ、実務型プラットフォームへ

近年、ウェルネス産業は「食」「運動」「睡眠」「メンタルヘルス」など多領域に拡大し、人々の健康意識の高まりとともに市場として急速に成長しています。一方で、製品・サービスの価値を支える「エビデンス」の在り方については、産業・行政それぞれの立場で基準や考え方が異なり、必ずしも統一的理解が形成されているとは言えません。

このような状況において、

- ・ウェルネス産業に適合した新しいレギュラトリーサイエンスの確立
- ・ウェルネス産業としての実装可能性をどう担保するのか
- ・生活者にとっての納得感・信頼性をいかに構築するのか

といった論点は、今後のウェルネス産業の持続的発展における重要課題となっています。

本シンポジウムでは、産学官それぞれの立場から「エビデンス」の現状と課題を整理し、ウェルネス産業における新たな指針の構築に向けた議論を行います。本取り組みを通じて、我が国におけるウェルネス産業の健全な発展と、社会への価値提供の最大化に寄与することを目指します。

開催概要

主催：一般社団法人日本ウェルネス産業推進協会

日時：2026年7月13日（月）15:00 - 18:00（受付14:30開始）

- 15:00- 第一部 開会挨拶
- 15:15- 第二部 基調講演
- 16:45- 休憩
- 16:55- 第三部 行政セッション※調整中
- 17:25- 第四部 パネルディスカッション
「ウェルネス産業におけるエビデンスの再定義」
- 18:00- 懇親会

※一部内容を変更してお届けする場合がございます。

会場：日本橋ライフサイエンスハブ

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5

室町ちばぎん三井ビルディング8階（COREDO室町3）

登壇者



大谷 泰夫 氏

神奈川県立保健福祉大学 理事長

一般社団法人日本ウェルネス産業推進協会 理事長

東京大学法学部卒業。昭和51年厚生省入省し、医政局長、厚生労働審議官、内閣官房参与等を経て、平成30年4月より神奈川県立保健福祉大学理事長に就任。

森下 竜一 氏 大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授
一般社団法人日本ウェルネス産業推進協会 副理事長

内藤 裕二 氏 京都府立医科大学大学院 医学研究科 生体免疫栄養学 教授
一般社団法人日本ウェルネス産業推進協会 理事

※その他調整中

参加費用

当協会会員

・無料

非会員

- ・シンポジウムor懇親会のみ：5,000円
- ・シンポジウム+懇親会：10,000円

お申込みはこちら

<https://form.run/@20260713jwia-symposium>

【申込期日】7月3日（金）まで



お問合せ先



一般社団法人

日本ウェルネス産業推進協会

JWIA

JAPAN WELLNESS INDUSTRY ASSOCIATION

担当：清水



info@j-wia.org



<https://j-wia.org/>

東京都中央区銀座6-2-1 Daiwa銀座ビル3階（株）RDサポート内